

日本クリスチャン・アシュラム連盟

Founded by Eli Stanley Jones

秋季号



日本アシュラム

AUTUMN 1991

United Christian Ashrams of Japan

76

開心・静聴・充滿・献身・奉仕

▼連盟は創始者の祈りによって各地に生まれたファミリーの全国的な交わりであって、常に新しい地区(単位)の参加を期待している。



聖霊のバプテスマの恵みと力

満丸 茂

①生ける内住のキリスト信仰と体験 (ガラテヤ二・二〇)

私はキリスト教を求め、一九三七年(大正十二年)東京・赤坂の靈南坂教会を探し当てた。同年十一月一日、賀川豊彦先生の伝道説教で悔い改め、受洗の決意をし、同年のクリスマスに受洗した。そして全く新しい者とさせられた。賀川先生は「諸君は信徒伝道者になれ」と言われた。信徒伝道者でも神学校に入学した。富永先生の新公同神学校である。富永先生は「本当のキリスト教は、生けるキリストの内住の信仰と体験である」と説かれた。私は神学校の一年生の時これを与えられた。ガラテヤ二章二〇節、生けるキリストが、土の器の私の中に住み、生きて居られる事の恵み、力強さ、喜び、感謝、平安、どの様な宝よりも尊いものであった。信徒として仕事をして居れない。この恵みを人々に伝えたいと牧師になった。太平洋戦争中、全日本がキリスト教に反対しても、私一人でも東京にふみ留まって、このキリスト教、生けるキリストの内住の

信仰を伝えたいと伝道した。

太平洋戦争後キリスト教のブームが来て、六〇名の椅子の教会が七三名、昭和二六年は一年に三〇名も受洗者が出た。教会創立後まだ十五年の時であった。生けるキリストのお働きであった。

②サタンの挑戦

昭和二十六年頃は、キリスト教ブームの時代であった。私の牧していた東京、杉並区、大宮前教会も満堂の礼拝であった。六〇名の椅子の礼拝堂に七三名も出席した。礼拝堂に溢れて礼拝を守った。受洗者一年で三〇名、祈祷会二三名であった。サタンはこれを妬んだ。教会の役員を通して挑戦して来た。教会に問題が起きる時は教勢が低下した時である。大宮前教会は違った。「満丸牧師の説教は下手だ。人格は駄目だ」。全日本が私に反対しても敢然として立ち向った私ではあった。しかし役員に反対されると、全く参ってしまつた。不眠となり、肺結核が再発した。

③聖霊のバプテスマの恵みと力 (使徒行伝一・八)

信仰も低下し、伝道力も落ちた。説教に力がなくなった。説教に力がなくなると礼拝も急低下した。七三名の礼拝が二年で五〇名になった。伝道力も弱くなったので、求道者会での私の力も弱くなった。八〇名の求道者が二年で一〇名に激減した。馬鹿らしくて私の説教、講話を聞く人が激減した。病氣は治つたが、信仰と伝道力を強化しなければならなかった。それに聖霊のバプテスマを頂く以外に道はない。一九五五年(昭和三十一年)、東京教区伝道部主催のアシュラムがあった。ここで何としても聖霊のバプテスマを頂かないと牧師ができない。必死になつて聖霊のバプテスマを求めた。

連鎖祈祷の第一夜である。十時から一時間祈り初めた。「聖霊のバプテスマを与え給え。与えられるまで、アシュラムが終つても帰りません」と祈り初めた。必死に祈つた。

与えられた。聖霊に満たされた。力に溢れた。「満丸茂よ。恐れずに語れ。お前の中に私は居るぞ。お前を大宮教会に遣わしたのは役員会でもない。教会総会でもない。私がお前を大宮教会に遣わしたのだ」。使徒行伝一八章九節に、主がパウロに「恐れるな、語りつづけよ。黙っているな。あなたにはわたしがついてる。だれもあなたを襲つて、危害を加えるようなことはない」と語られた。その生ける主は、

理事長 滝江 淳一
編集人 大石 眞道
発行人 大石 眞道
定価 一部 60円 千60円

私にもパウロと同じ様に語られた。語り、そして聖霊を満たし給うた。聖霊のバプテスマを与え給うた。喜びに溢れた。連鎖祈禱わずか一時間であったが、生ける主、聖霊は私を全く造り変え、新しくせられた。使徒行伝一章八節にて「ただ、聖霊があなたにたにくる時、あなたがたは力を受けて」とある「力」という字は、バックストンの使徒行伝講義によると、ダイナマイトのもとになったギリシヤ語であったという。その時の充滿の時の私の発言は、聖霊に満たされ、会場を圧倒した。一緒に行った大宮前教会員は、「あのアシラムは先生のためにのみなされた様に感じた」と言った。

私の信仰が全く変わった。説教が変わった。それからの礼拝堂は聖霊に満たされる礼拝堂となった。伝道力が変わった。五〇名に落ちた礼拝者数は、一九五八年(昭和三十三年)には七三名と、グングン礼拝は上昇した。

スタンレー・ジョーンズ博士は、アシラムと共に訪問伝道を持って来た。一九五五年吉田隆吉牧師により大宮前教会訪問伝道講習会を開き、訪問伝道を始めた。礼拝出席者、受洗者が急上昇したのは、アシラムと共に訪問伝道をやったからである。

訪問伝道は牧師、信徒の協力伝道である。この協力の姿勢が、教会全体、役員会にも及び、教会全体、役員会が全く変わり、牧師、役員一体の役員会となった。教会となった。

今の様なアシラムの組織になり、関東アシラム第一代の委員長に任じられた。それから三六年間、聖霊は私の中に満ち続けておられる。八月になると八九歳になるが、壮年の様な健康で、日本中を伝道して廻り一千万救霊の叫びを続けている。

この男に惚れた理由

松沢信広

私自身、全く無の存在である。こわれた土器である。罪の魂である。負け犬である。この土の器を生ける主に開け渡すと、生けるキリスト、聖霊は驚くべき御業をなし給う。神の御名はほむべきかな。

先達て入院中に読んだ本の中の一つに「自分をもっと大きく生かせ」という、ソニーの盛田昭夫の本を読んだ。彼は分刻みの神がかり的なスケジュールで、世界を駆け巡る。

ところが彼の体ときたら、専属の整体術師いわく、「この人にはマッサージする者を逆に癒すエネルギーを放出する力がある」と言う。

世の中には実に不思議な能力、不思議な魅力を持った、そんな傑出した人物がいるものである。何かその人の傍に居るだけで、不思議とこちらまで影響を受けるものである。

しかしこの世界は、もつとユニークな男の存在を知っている。実はこの男、歴史上かつてないほどに誤解され、その価値を認められず、酷評され、批判され、馬鹿にされ、呪われ、最後には命さえ奪われた。

だがその評価や取り扱いは反対に、この男ほど人々に影響を与え、

人々の生き方を変え、価値観を変えてきた者はない、この男こそ、

「イエスは主である」との告白を受けるキリストである。

この男の生き様を見ると、この男には「型破りの愛」があった。

第一は、愛の深さである。どんな罪深い者でも受け止める愛の深さである。「わたしが陰府に床をもうけても、あなたはそこにおられます」と告白したのはダビデ王である。どんなにも届く愛の深さがある。

この男は、罪人を救うために神の栄光の座を惜しみなく捨てて、天から地へと下られた神のひとり子である。この世でこの男は罪人の一人に数えられた。否この男は、罪人の落ちる陰府にまで下られた。天から地へと、そして地から陰府へと、更に下られた。神に見捨てられるまで、落ちに落ちた神である。あなたの罪がどんなに大きくても……この愛の深さからもれる者はない。

第二は、愛の広さである。この男は全世界の主として、救主として、祝福の門を開かれた。男も女も、老人も子供も、健康な人も病人も、金持ちも貧しい者も、誰でもどんな人でも、信ずる者全てを救う、広い愛を持っていた。

第三は、愛の高さである。罪人を同情し、慰め、救って終りではない。この男の愛は、毛虫が蝶になつて大空に舞い上がるように、罪人を引き上げ、変えて、変え続けてくれるものである。「どこまで変えられますか?」。栄光から栄光へと、泥まみれ、傷だらけの私たちを変えて下さり、主と同じ姿にまで変えて下さる愛の高さがある。

第四は、愛の長さである。この男の愛には長さが、つまり忍耐があった。脆く弱い、そう生きたくても生きれない過ちだらけの私たち罪人を、目を細めて育む愛があった。諦めることのない愛である。

この男は、「そこまでしたら品性が落ちますよ」「誤解されますよ」、こんな常識を破って生きる自由が、勇気が、挑戦心、冒険心があった。私はこの男に惚れた。そして伝道者となった。しかしいつしか、この男の気概を失っている自分を見る。アシラムは、この男に肉迫させる数少ない集会の一つかと思う。

※同著者による左の本は伝道に最適

「イエスは主である」

アシラムの五大原則

人生を変える愛と希望の十一章

『イエスは主である』

ロマ書十章九節

アシラムの五大原則
(一) キリストへの明渡し
(二) 福音への神聖と立証

人生を変える愛と希望の十一章
こうすれば奇跡が起きるキリスト教入門
松沢信広著

国際アシユラム・ニュース

第三十周年フィンランド・アシユラム祝典(第七五号4頁参照)

今年六月七日、九日の三十周年の記念大会への日本の祝辞が、フィンランド季刊誌に母国語にて記載されました。国際アシユラムの交わりを感謝します。(同誌参照 連絡先)

Mrs. Riva Heikkinen

Hameenpuistia 43-45- A16

33200 Tampere, Finland

tel 931-148691

国際アシユラム協力委員に、飯島庸江姉が選ばれた。

四年に一度の各国転番(印度、イスラエル、フィンランド、スエーデン、ドイツなど)の特別委員日本代二名に新たに一名を加えることにより三名となる。御活躍を期待します。

アメリカ加州シエラ(SIERRA)季刊誌紙(編集者ルイス・スノー姉)

は、(Louise Snow, 608 W.Holly Ave, El.Sosunda CA, 90245) 故S・ジョーンズ

師は、生前に言い残した言葉に「六十〜七十身の名のアシユラムの集い」がいちばん靈的に満たされるとのこと。(大石)



JAPANIN KRISTILLISEN ASHYRAMIN puolesta iloitseen Suomessa, että Suomen Kristillinen Ashram viettää 30-vuotispäivänään Kauhaisissa. Kaupungin tuoplatilla 7.9.6.1991 Suomen Ashramystävien piirissä on kuultu 30 vuoden aikana keuhkeisesti julistettu Jumalan rakkautta ja evankeliumien ilmoittamaa toivutusta Jeesuksesta.

Olkoon tämä juhla tuore ja nautittava. Heikkinen Riva ja muutamat ja siivet joih dattaman rokkaasti tuleva: suomen Jumalalle olkoon kiitos Suomen Ashramin menestyksestä, nykyisyydestä ja tulevaisuudesta. Armo ja rauha teille kaikille John Tsunguo Osho Japanin Kristillisen Ashramin pääsihteri

アシユラムの守り方(9)

晩禱・教会活動の時

海老沢 宣道

アシユラムの一日のプログラムが全て終了した夜、そのまま各自の寝室へ分散するのではなく、数分の時をさいて、晩禱の時をもち司会者が「これから明朝六時まで沈黙の時に入りますから、各部屋では大切な用事も小声で友人の耳にささやくようにして、大声で折り合ったり雑談をしないように心がけて下さい。連鎖の祈りのために祈祷室に出入りする時も、足音を立てず、他室の睡眠をも妨げないように注意して下さい。祈祷室に入ったら、既に沈黙・静聴・黙禱・冥想をしている人の妨げにならないように終始無言の中で時間を聖別し、主との深い交わりに入って頂きたいものです。」と述べて一同の心を整えて頂くため、その日の全ての日程を通して与えられた主の恵みを感じ、有志の祈りを願ってから、三本指を上げて「イエスは主である」と互いに挨拶を交わして後に、分散するのが良いと思う。もし最後の時間が、「祈りの細胞」の場合は、各細胞の座長が、また「証しの時」とか「福音の時」のような全体集会の場合、その時の司会者が、晩禱を導いてもらいたい。

しよう。朝食はまず沈黙の中に、食器の音も立てないで頂く。「アシユラム聖歌集」にある食前と食後のさんびかを毎回一同で唱和するのが望ましい。中食と夕食の時はその他に、卓主が、聖書が信仰書から詩的な文章を静かに朗読する。静かな音楽のテープをかけるのもよい。

「教会活動の時」。欧米のアシユラムでは、日程の中に、このような時間が設けられている。アシユラムは連合の集会に参加して、そこで個人的に恵まれる、信仰的に聖化されるということを楽しんで終るものではない。主イエスの御用をなすために、地上に設けられている教会をキリストのからだらしく、働く霊の共同体となすためには、どのようなことをしたら良いのか。その研究討論や指導的講演ではなく、各自の教会内でこのアシユラムに参加した者が、いかに「恵みの分ち合い」(シェアリング)を実行しているか。またはアシユラム式の祈祷生活を守っているか。われらのなすべき最高の奉仕は、隣人に対する宣教救霊であり、これこそ真の愛のわざであることを、それらの実例や体験を通して話して貰う時である。

食事の時もアシユラム式の食事をする

(コリント第一書十二章三節) (ピリピ書 第二章 十一節)

(三) 聖霊の啓理と充滿 (四) 教会への奉仕と伝道 (五) 神の国の体験と献身

◎最近刊好評

インド・アシユラムの指導者

D・P・タイタス師著

海老沢 宣道 訳

「聖霊のバプテスマ」

現代教会が忘れていた信仰上不可欠の体験を学修する良書・新書判・約60頁・定価三百円

サトタル・アシユラム指導者

D・P・タイタス師著

植村 俊雄 訳

「御国を来らせ給え」

神の国に就ての研究

A 6判40頁定価二百円 70円

スタンレー・ジョーンズ博士の処女作 忽ち世界各国でベストセラーになった インド途上のキリスト

金井為一郎元訳 瀧江淳一新訳

美装幀 B 6判 250頁 価1900円 7250円

若干23才で英国統治下のインドに単身赴任。60年余の生涯を献身し、現代のパウロと称された博士が、主イエスから啓示された奥義は何であったか。

第九回関東アシラムへの招き

関東アシラム委員会書記

新原 迪

第二九回関東アシラムは、来る九月二三日(月)と二五日(水)の三日間、箱根アカデミー・ハウスで開かれます。

わたしたちは、こういう機会だけが「アシラム」ではなく、「イエスは主である」と絶えず生活の中で告白し続けてまいります。しかもこうした中で、様々な形の問題に直面し、自分が何処に立っているのかわかることでしょうか。でも、こういう時こそ信仰の養われる時として大切にしたいものです。

アシラムでこうした時に大切な歩みの姿勢をもう一度取り戻し、新たにされようと備えます。開心、静聴、祈りの細胞、恵みのわかち合い、充満。これらは新たに御霊の祝福をもたらし、大きな霊的力となっていくことでしょうか。

日頃の生活の場を離れ、清涼な山間の中に退き、ひとときを静まって、主の語られる御言に深く聞く時を献げたいものです。

助言者中島彰師も備えておられる。課題を負い、祈りを以て、ぜひ箱根アカデミーハウスへお集い下さい。お申込は左記事務局までお早めに、

〒一一二東京都文京区白山二丁目三七番三小石川白山教会内関東アシラム委員会事務局TEL03(三八一六)一七九七

各地アシラム予告

第二五回関西アシラム

九月十五日(日)午後六時～十六日(月)会場 兵庫県三田関西キャンプ場

主助言者 海老沢宣道理事長

第二九回関東アシラム

九月二三日(祝)と二五日(水)会場 箱根アカデミーハウス

主助言者 中島 彰師

東北仙台アシラム

十月十日(体育の日)午前十時より助言者 向山 自助 副理事長

第二六回九州アシラム

十月十四日(月)と十五日(火)会場 北九州市西南女学院研修所

主助言者 海老沢宣道理事長

第十五回城西アシラム

十月十日(体育の日)十時～四時主題聖句ヨハネ黙示録三章二十～二二

会場 日キ教団高円寺教会

「福音の時」担当満丸茂牧師

第四回松山アシラム

十一月十日(日)於松山山越教会

助言者 予定 渥江 淳一

中部名古屋アシラム

十一月二三日(勤労感謝の日)九時より助言者 渥江 淳一

個人消息

○吉池みつ姉(東北地区委員)は、川俣教会主任牧師を辞任、名誉牧師となられた。なお現在病氣ご入院中と聞く、ご加禱を祈ります。

○大石嗣郎兄(連盟総務)は、去る八月六日、目黒区民平和祈念の集いで、国際交流教会の理事長として「平和もつくり出すもの」と題して、四五〇名の区民に講演をした。この後「あぐる平和の鐘を遺族代表らが打ち鳴らし、すいとん試食会を開いて戦争中の苦難をしのびながら食べた」と、八月七日(水)の毎日新聞は報道している。

○飯島庸江姉(関東地区委員)は、国際クリスチャン・アシラム理事会で同姉を一九九二年一月からの日本代表の国際委員の一人として推挙した。そこで日本アシラム連盟としてもこれに呼応した処置をとることにした。

○渥江淳一兄(連盟書記理事)は、今年六月福音の土着化を祈求して第六冊目の大著「パウロの神学」と「日本の神学」を執筆、東京宗教研究所から出版した。

(B6判六〇〇頁、二〇〇〇円)

(以上海老沢報)

献金報告(前号以降)

- 石神 勇 一〇、〇〇〇円
 - 渥江 淳一 二〇、〇〇〇円
 - 古河 治 一〇、〇〇〇円
 - 河野 修 二〇、〇〇〇円
 - 以上四口 六〇、〇〇〇円
- 一九九一年八月十三日会計(大石)

好評・三版出来

海老沢宣道著 「アシラムの原則と実際」 新書判52頁 価三百円72円

アシラム生活の最良の友

アパ・ルーム

(年6回刊行の日々の糧)

国際的、超教派的、霊的な読物 価220円 72円、年1,752円

発行所 (256) 小田原市国府津3-11 振替座 (東京) 1-193834 アパ・ルーム 日本語版は創刊以来41年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10 日本クリスチャン・アシラム連盟